

第1401号事件申立人からのお手紙（抜萃）

先日から同行支援、調査等に尽力を重ねて頂き、本当に有り難く思っています。報告書を何度も、何度も読み返しました。現在の医療現場と職業意識の欠如に現実を見る思いです。

1度でも当直医が途中で診察をしてきていたのなら、家族もこんなにも病院側に抗議的な言い分は言わなかったと思います。最後まで息子は「〇〇先生を呼んで！」と叫んでいました。看護師がもっと配慮をしてきて、訴えを全うに受けてくれていたなら……！

今でも息子の死は無念でなりませんし、心が貧しいかもしれませんが、許す事ができません。

病院にとっては、年間何千人の患者と接しているかもしれません。息子はその中の一人であり、もっと真摯に受け止めてくれて医療を受ける権利もあります。医師との思いの交差がうまく行けず、本当に悲しいです。これまで3回余命を聞きました。「がんばってるじゃないですか！」とのくり返し、家族も息子も多少期待して、まだ生きられると！思い込んでいた所もあります。

まだ、やりたい事もたくさんあったと思います。息子も自分自身、こんな形で命をとじるなんて考えてなかったと思います。

まだ、納得いかない！というのが現状です。生前、息子は苦しみながら死にたくないと言っていました。病気になっただけでも本人の心痛、ストレスが大変なのに、一体、何の為、誰の為の病院、治療なんですか！

オンブズマンの皆様には本当に感謝しています。声を限りに「ありがとうございます」と申します。